

2013年10月7日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報 49号

セントロ、コパカバーナにおける邦人の路上強盗被害

1. 10月4日(金)午後0時30分頃、セントロ地区の Av. Republica do Chile と Av. Republica do Paraguai の立体交差付近を在留邦人が徒歩にて移動していたところ、黒人の若者2名が進路を遮ってつきまとい、「セルラー、セルラー」と申し向けて携帯電話を渡すよう要求しました。被害者が指示に従って、胸ポケットに入っていた携帯電話を手渡すと、犯人らは引き続き、被害者のポケットを探って、めぼしい物がないことを確認すると足早に立ち去りました。

ここ2ヶ月ほどの間、セントロ地区では昼夜を問わず邦人の路上強盗被害が続いています。今回の事例では、携帯電話を無防備に使用していたような状況でもないにも関わらず標的とされました。セントロ地区では、平日の昼間であっても、徒歩の移動はなるべく控えてください。

2. 10月6日(日)午後7時30分頃、在留邦人が外食後に自宅付近のコパカバーナ地区の Rua Francisco Sa でタクシーを下車したところ、黒人の男1名が背後から被害者が所持していた袋をつかみ、奪い取ろうとしました。被害者が抵抗しようとする、男は手を衣類の下に入れて、何か凶器を隠し持っているような素振りをして「金を出せ、殺すぞ」と言って脅しました。被害者が危険を感じて袋を手放すと、男がその場で袋を物色し始めたので、被害者はその隙を突いて現場を離れました。

被害現場は被害者の自宅からわずかな距離でしたが、自宅前までタクシーで行くには、一方通行規制のために遠回りをする必要があったため、自宅から少し離れた場所でタクシーを降りたところを襲われました。

比較的早い時間帯でも路上強盗やひったくりは発生していますので、夜間は自宅前までタクシーを使用するようにしてください。